## 3：国際協力における教育開発と地域研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 概　要 | | 広島大学国際協力研究科（IDEC）では、国際協力機構（JICA）や国連訓練調査研究所（UNITAR）等の内外の国際機関と連携しつつ、長年にわたり発展途上国への開発支援、地域開発、地域文化の解明などに取り組んできました。本講座では、広島大学による国際協力への取り組みの一端を紹介することを目的として、特に本研究科の教育開発と地域研究に携わる専門の講師が、アジア・アフリカ諸国への教育支援と地域文化を理解する視点の重要性についてお話しします。 | |
| 会　場 | | 東広島キャンパス　（国際協力研究科　206講義室） | |
| 時　間 | | 18時00分　～　19時30分 | |
| 定員／対象 | | 30名 ／ どなたでも | |
| 1回 | 6/9（火） | **バングラデシュにおける開発と文化** | 国際協力研究科　准教授　外川 昌彦 |
| | | 日本によるバングラデシュへの ODA 案件のひとつである農村電化事業の実績を事例に取り上げ、開発プロジェクトが現地社会にもたらす光と影を考察します。 | |
| 2回 | 6/16（火） | **ネパールにおける開発と文化** | 国際協力研究科　教　授<br>マハラジャン・ケシャブ・ラル |
| | | 今日の南アジアは、グローバル化と開発の過程で地域社会と文化の大きな変容を経験しつつあります。南アジア固有のカースト制度を取り上げ、特にネパールを中心に、その変容と今日的課題について考察します。 | |
| 3回 | 6/23（火） | **アジア・アフリカで実施してきた教育協力と日本の将来** | 国際協力研究科　教　授　池田 秀雄 |
| | | この20年間、日本は JICA を通して多くの開発途上国で教育協力事業を実施してきました。明治以来、日本が経験した教育の近代化と、開発途上国の教育開発の実際と問題点について対比しながら、日本の将来についても考察します。 | |
| 4回 | 6/30（火） | **ニジェール「みんなの学校プロジェクト」ー住民主導で取り組む地域の学校づくりの取り組み** | 国際協力研究科　特任准教授<br>小塚 英治 |
| | | 世界の中で最貧国、最低水準の就学率に位置する西アフリカのニジェールにおいて、住民主導による教育改善のうねりが起こっています。試行錯誤のプロセスや仕掛けについて解説を行い、地域社会と学校の在り方、国際協力の役割について議論を行います。 | |
| 5回 | 7/7（火） | **タイにおける教師教育改革の意義と課題** | 国際協力研究科　准教授　牧　貴愛 |
| | | タイの学校教員の質を向上させるための改革施策の意義と課題について、日本の教師教育改革と比べながら紹介し、教員はどのような資質・能力ないし力量を備えるべきなのか、また、そのためには教員養成や教員研修等の施策はどのように組織されるべきなのか、といった事柄について、受講者と議論したいと思います。 | |

**講座内容に関する問合せ**　国際協力研究科　電　話：082－424－6909
メール：koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp